

連合奈良の日 -- 核兵器はいらない -- 9月5日 18:00~ 近鉄五位堂駅

8月に引き続き、「核兵器廃絶1,000万人署名」を近鉄五位堂駅で行いました。今の世界情勢に目を向けると核兵器廃絶どころか増強の懸念を禁じえません。広島や長崎の教訓はどうなったのでしょうか？今もなお多くの方が、被爆者が放射線障害や後遺症に苦しんでいます。

核兵器廃絶1000万署名

こんな惨い兵器が必要なんでしょうか？その惨さ故に保有国が国家間のパワーバランスで優位に立てるという妄想は捨てなければいけない。だから、核兵器使用による悲劇が二度と繰り返されないよう被爆国である日本から強く訴え続けなければなりません。



参加者
西田会長、山原事務局長、渡邊副事務局長、尾崎奈良県議会議員、中村・筒井香芝市議会議員、西川大和高田市議会議員

中和地協 高谷議長以下 8名
……68筆の署名をいただきました……

中和地協幹事・友好議員 研修会 ……先人の知恵に学ぶ……

9月7日(土)～8日(日)

心配された台風の影響も殆どなく「先人の知恵に学ぶ」と題した研修ですが、良い天気にも恵まれ無事に終える事ができました。道中の雑談の中から幹事・議員の懇親が深まり有意義な研修となりました。署名活動にも繋がりますが、戦争はしてはならない。平和である事の幸せを感じる研修でもありました。

中和地協・中和労福協・友好議員 交流会



日時:2019年8月26日(月)
9回目となる“中和地協・中和労福協・友好議員の交流ゴルフを開催。天候にも恵まれ和気藹藹の雰囲気の中、懇親を深めました。



伊根湾の舟屋風景



途中で立ち寄った
天橋立にて



引揚記念館に展示されている日誌・メモ

「日本で最も美しい村」の一つ「伊根」を訪ね、美しい海と豊かな自然、そこで暮らす人々の生活の知恵によって生まれた風景美を見学。陸地からは味わえない舟屋の風景と趣を目にして先人の知恵に触れました。

翌日は、舞鶴へ足を延ばし日本の近代化遺産として残された赤れんが建造物を見学しました。近代国家として西欧列強に渡り合うため、海防力を備える事が急務だった明治期に当時の最新技術と巨額の予算を集中的に投入して、海軍諸機関と共に鉄道、水道等のインフラを整備しました。いくつかある「レンガ積み」工法の中で、とにかく早く造る、頑丈な物を造る為にイギリス積み工法を採用しました。これも先人の知恵。そして、静かな農村が近代的な軍港都市に生まれ変わりました。生活から生まれた知恵、取り入れた知恵、どちらも先人の知恵。



また、自衛隊の艦艇では見学を受付けてくれた自衛官にたくさんの質問をして日常考える事のない防衛(国を衛る)について考えたところです。最後に舞鶴引揚記念館を訪ね、終戦時、海外にいた日本人約660万人の帰国事業であった「引き揚げ」について、記念館の語り部から過酷な史実のほか家族への想いを支えに生き抜いた人々や引き揚げ者を暖かく迎え入れた資料も数多く見学し「平和」の大切さを改めて感じましたが、それにしても戦争というのは人の心を蝕み人としての善悪とは別の行動をとる(取らざるを得ない)事に心が寒くなる思いでした。署名活動を続ける糧にもなる研修でした。



北吸棧橋 自衛艦前